



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 浦川 務
カトリック福岡司教区
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

5月の意向

【教皇の意向】 労働条件
【日本の教会】 子ども
【教皇の意向のために祈りましょう】

教皇フランシスコ逝去 天の御父のもとに帰られる

ローマ教皇庁（バチカン）は4月21日午前7時35分（日本時間午後2時35分）、ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が天の御父のもとへ帰られたと発表した。88歳だった。
教皇は今年2月に体調不良により入院していたが3月23日に退院、前日の4月20日にはバチカンのサンピエトロ広場で行われた復活祭のミサに姿を見せ、バルコニーから群衆に語りかけたばかりだった。



@ Vatican Media

よい牧者の教皇フランシスコ ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）

の活動を振り返ってみると、いくつかの大切なことに気づきます。

◆教皇はキリストの愛と慈しみを深く味わい、本当にイエス・キリストに捕らえられた方だったと感じます。教皇の最後の回勅は『DILEXIT NOS』（わたしたちを愛してくださった）で始まります。キリストの愛を深く味わうことによつて、他の人々が兄弟姉妹であること

を確認し（回勅『兄弟の皆さん』）、そして真剣に共通の家を大事にする責任を感じます（回勅『ラウダート・シ』）。教皇フランシスコが訴え続けたメッセージの源泉はイエスとの深い関わりにあります。

◆すべての人々を深く愛しておられた方です。教皇の行動によつてこれは具体的に示されたのです。訪問先の選び方、排除されている人々との関わり方、命の尊厳を訴え続ける叫びなどは、この深い愛を表しています。

◆福音の喜びを多くのの人々に伝えたい望みに満ちた方でした。最初に発表された文書が『福音の喜び』でした。そして、この福音を中心に置いた魅力的な教会を育てることを目指した方でした。そのために、教会のさまざまな変革を進めたのです。2021年から24年にかけて、教皇が招集して行われたシノドスはこれを目指していました。「出向いていく教会」という表現を何回も繰り返された方でした。

◆世界において、勇気と希望をもつて、人間の尊厳や平和を訴え続けた方でした。私たちは、日本を訪れてくださったときのメッセージを感じ動して聞きました。非暴力、対話、和解などの必要性を繰

父の愛を感じさせてくれるまさに「パパ様」船津亮太神父（ローマ留学中）
フランシスコ教皇が復活の主日の翌日4月21日に逝去されました。その日は「天使の月曜日」とも呼ばれ、通常



2019年訪日・長崎でのミサで（「教皇フランシスコ訪日公式記録集」より）
ヴァチカンのサン・ピエトロ広場では正午にレジーナ・チェリ（天の元后、喜びたまえ）の祈りを広場の巡礼者と唱えられます。しかし今回、教皇の訃報が午前中に入り、正午からしばらくの

時の話題

新受洗者の声
「時を埋めた友からの手紙」

きっかけは旧友からの一通の手紙である。とても辛いことがあつて泣き暮らしていた頃、たまたま手紙をくれたのだ。20年ぶりの再会である。お互いの近況を話した後、友は私に教会へ行くと勧めた。私は27年程前に当時住んでいた地の教会で知り合ったのだ。しかし私は「100%の確信」を持って信仰する気持ちに達せず、教会から離れてし

また。今回、友の勧めで訪れた地元の小さな教会。中に入ると祭壇横に何やら外国人の御絵。禁教令によつて殉教し、後に福者に列せられた神父様らしい。こんな田舎の教会で、歴史上の出来事が現実のものとして、このような形で自分の目の前にあることに驚いた。

さて、私を迎えてくれた神父様は「あなたが来るのを待っていましたよ」とばかりに温かい言葉で私の重荷をほどいてくれた。苦しみを包み込んで痛みを和らげてくれる情深い、頼りがいのある神父様である。「救われたい」気持ちとアットホームな教会の雰囲気。霧開きが私の教会通いを復活させた。「100%の確信」は今でもない。けれどそれでいいのではないかと考えるようになった。弱いから何かに寄り頼（すが）りたいのだ。20年ぶりに再会した友が、私を再びイエス様に近づけてくれたのだと思う。

この地に布教のために訪れ、志半ばで殉教されたデメーナ・アルフォンソ神父様、オルファネル・ヤシント神父様。お二人に見守られているこの伝統ある教会で、洗礼の恵みをいただけることに心から感謝している。鹿島教会 清水敦子

聖霊とともに働く
教皇様に感動
ジョン・ウオンチヨル神父（戸畑・若松教会主任）

私にとつて教皇フランシスコは特別な方でした。私が神学生生の時、日本に來られました。長崎への訪問、そしてミサです。侍者として参加した私の、その時の第一印象は「いつ倒れてもおかしくない老人」でした。歩き方がおぼつかず、不安に感じたのです。後で聞くと、司教の時から足がよくなかったとのことでした。ところが握手するのために手を組んでみると、自分の手が痛くなるほど強い握力を持つていらしたのです。教皇様は聖霊と共に、そして聖霊の力で動く（働く）ので、高齢であるにもかかわらず、殺人的なスケジュールも無理なく消化し、神の国のために走り回ることができると感じました。

復活祭のミサ後の「ウルビー・エト・オルビ（ローマ市と全世界へ）」が私たちへの最後の祝福となつてしまいましたが、今はその不在を知らせてくれる鐘が鳴り響き、喪失感は大きいですが、それ以上に「ありがとう」の感謝の気持ちの方が大きいと思います。フランシスコ教皇の永遠の安息を祈りたいと思います。



4月29日、私たちは2027年ソウル世界青年大会(WYD)の準備として、WYDの象徴である「青年たちの十字架」と「マリア様のイコン」をお迎えしました。教皇ヨハネ・パウロ2世は、常に十字架とマリア様のイコンと一緒に全世界の青年たちのもとへ巡るようしました。このイコンは「Sa ius Populi Romani（ローマの民の救い）」と呼ばれ、伝統的にローマで一番愛されるイコンといえます。教皇様はなぜ十字架と一緒にマリア様のイコンを巡らされたのか。5月のマリア様の月を迎えて共に考えたいと思います。▼教会にマリア様の像は沢山ありますが、マリア様は信仰の対象ではなく尊敬の対象です。ではなぜ教会はマリア様を大事にしているのか。イエス様の母だからというだけではありません。マリア様はイエス様を身ごもったとき、神様の仰せの通りになることを望みました。ご自身のすべてを神に託したその信仰のおかげで、私たちは救い主イエス・キリストを迎えることができました。イエス様の誕生の後、そしてイエス様が天に昇られた後でも、母の心で教会の人々の面倒をみました。子どもの姿を見守る母として教会全体を支えました。▼教会は、マリア様が天に昇られても地上に残された神様を信じる子どもたちのために、神様とイエス様に祈つてくださると信じます。それが「マリア様の取次」です。WYDの時にマリア様のイコンと一緒に巡ることは、このようなマリア様の母の心を青年たちにも感じてもらいたいためではないかと思えます。（J）

◆ 福岡教区創立100周年に向けて ◆



2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。これを受け、教区報では、各小教区や団体が100周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。「創立100周年」の情報は右記QRコードからご覧になれます。

巡礼指定教会の取り組み
3. 大江教会

巡礼記念コーナー

大江教会は1880（明治13）年に創立されました。現在の聖堂は1933（昭和8）年3月25日の神のお告げの日に献堂式が行われています。聖堂正面の壁に掲げられている絵は、主任司祭のフレデリック・ルイ・ガルニエ神父様（パリ外国宣教会）の姪御さんが聖堂完成のお祝いに描かれ、フランスから送られてきた「お告げ」の絵です。聖堂正面に十字架以外のものが掲げられているのは珍しいのではないのでしょうか。

現在多くの方々国内はもちろん海外からも日々訪れて下さっています。聖堂入り口に設置された旅ノートには見学の感想として「安らぐことができました」等の感想を頂いています。また、県外からの修学旅行、市内学校の学習体験としての来訪があります。海外からの巡礼ミサも多くなりました。言葉は分かりませんが、ミサの進行〔信仰〕は世界共通ですので違和感なく参加することができます。また、クリスマスには地元の保育園児が馬小屋訪問を毎年行ってくれます。昨年は支援学校の生徒が初めて訪れてくれました。目に見える宣教の結果はありませんが、開かれた教会・祈りの場でありたいと思っています。今回福岡教区100周年巡礼教会に指定され、聖堂入り口に看板を設置し、全信徒宅に巡礼指定教会になったことと、ヨゼフ・アベイヤ司教様からの「多くの巡礼者を受け入れ、信仰の歩みの手助けをして下さい」との言葉を添え通知しております。また教会スタンプも新しいデザインに変更いたしました。主日のミサ前には「福岡教区創立100周年のための祈り」を一同で唱えています。巡礼者を直接お出迎えは出来ませんが、是非皆様大江教会までお越し下さい。そして共に福岡教区と世界平和のため、また困難の中にある方々のためにお祈り下さい。

大江教会信徒 川口 明

初夏を思わせる陽気となった4月16日（水）の午後、カトリック大名町教会に司祭54人のほか、200人近い信徒が集い、ヨゼフ・アベイヤ司教主司式による聖香油ミサが執り行われた。

説教の中で、アベイヤ司教はルカによる福音書4章16節〜21節を取り上げ、ここに述べらるる香油の聖別が行われた。閉祭時、アベイヤ司教は今年司祭叙階70周年を迎えた畠山七郎神父（引退後、司祭の家）に在任中に触れた後、25周年を迎えた竹内英次神父（長崎大司教区司祭）を紹介した。竹内神父は、「どこに行っても信徒は変わらない。同じキリストの愛、信仰を持つてい」と述べた。

次いでフランスへ帰国するマルセル・コース神父が紹介され、自身の歩みと美野島司牧センターでの活動を振り返るとともに、「福岡教区、九州の最後のパリミッシェンの神父となりました」と寂しさを滲ませた。



聖油を前に司式するアベイヤ司教（左から3人目）

ミサ後は1階講堂でパーティーが催され、畠山神父のビデオメッセージが上映された。ビデオの中で畠山神父は、神学校や趣味についての思い出を語り、元気な姿を見せた。その後は司教を交えての歓談が続く。司祭と信徒との交流を深めた。

※「聖香油ミサ」の配信は下記QRコードよりご覧になれます。



ベトナム人司牧のために集った方々

【I 会議の開会】
1. 森山司教による歓迎と激励。司教は外国人一般、特にベトナム人の牧会担当者に向けて挨拶をし、各教区や教会での全ての構成員の協力を望んでいます。
2. アベイヤ司教のスピーチ。司教は「多様性から一致した教会を築く精神」についての励ましと共有を行いました。普遍的な教会には常に多様な存在がいます。特に日本では、さまざまな国から異なる言語と文化を持つ人々が集まっているためです。

2025年3月18、19日に、旧カトリック神学院でベトナム人司牧担当者やベトナム人司牧者の集いが行われました。参加者は28人で、福岡教区ヨゼフ・アベイヤ司教、大分教区森山信三司教、司祭、シスター、そしてJCARMのスタッフ2人です。目的は在日ベトナム人司牧の現状の分かち合い、協力関係の強化です。会議の主な内容は以下の通り。

全国ベトナム人司牧者の集い

皆さんもご存じの通り、福岡教区には2人の神学生（ヨゼフ・ヴォー・ター・フォン



大勢の神学生たちとともに

神学生、ヨゼフ・グエン・グアン・ティ（神学生）がおり、現在2人ともベトナムのビン教区の神学院にて司祭職に向けて準備を行っている。ヨゼフ・アベイヤ司教、ファム・バン・チュエン神父（大名町教会助任・聖ビンセンシオ・パウロ宣教会）、新教会の3人は、福岡教区の神学生が学ぶ神学院及びビンセンシオ修道会本部を訪問するため、3月24日から29日の日程でベトナムへ向かった。

世界召命祈願の日に寄せて
ベトナムに神学生を訪ねて

24日から26日まで、ビン教区の大神学院、司教館、小神学院（予科生）、司牧センターを訪問した。ビン教区神学院院长や補佐司教と会談し、神学生の報告や今後の養成の方角性について話し合った。大神学院では約150人の神学生が学んでおり、希望者が多かったため2年に1度入学試験を行っている。司牧センターでは、各修道女会から大勢の志願生が集まり学んでいた。

【II 報告】
各教区の担当司祭が、現在の業務状況、ベトナム人コミュニティの利点と困難について実状を報告しました。
【III 困難と希望についての討議】
1. 困難
ベトナムコミュニティの大多数は若者であり、日本で働き学んでいます。これは、彼らが家族から離れて暮らしていることを意味します。結婚講座や子ども向けのカテキズムの問題、特に結婚後の家族に対する関心とサポートが、ベトナム人司祭と、各教会の主任司祭から必要とされています。
2. 希望
（結婚手続きについて）担当司祭と主任司祭との間での支援と協力を求めています。

26日から28日は、ダラットに移動し、ビンセンシオ修道会本部にて、福岡教区の教会の若さと力強さが印象に残った。日本に技能実習生として来る人々もいれば、結婚して日本に定住する人々もいる。他の国々の人々も、日本の教会を訪ねている。私たちは言語や文化は異なるけれども、カトリックの信仰において一つであり、共に歩むことができる。そのことを感じるようになった。皆さんと共に、司祭、修道者への召し出しを祈り、青年たちへ呼びかけを続けていきたいと思う。

福岡教区本部事務局 十時伸治神父（西新教会）
「子ども向けのカテキズムについて」教区で日本語でカテキズムを学ぶことに加えて、ベトナムコミュニティが、日本語とベトナム語の2言語で基本的なカテキズムを作成し、子どもたちがベトナムのカテキズムと言語を理解し守ることを助けるよう望んでいます。

【IV 感謝のミサ】
感謝のミサと愛の食事が、喜び、使命、そして神の祝福を結びつけました。
ファム・バン・チュエン神父（大名町教会助任、聖ビンセンシオ・パウロ宣教会）

計 報

テレジア 吉田 芳美 修道女
（シヨファイユの幼きイエズス修道会）
3月31日帰天。享年81。修道生活57年でした。

マリア 久松 育子 修道女
（シヨファイユの幼きイエズス修道会）
4月5日帰天。享年100。修道生活78年でした。

サンパウロ 福岡宣教センター

営業時間：
10:00～18:00
定休日：日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る

株式会社 **みこころ舎**

問合せ
050-3032-1333

知りたい！
福岡教区内の
修道会
最終回

福岡教区には現在30ほどの修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。
一昨春より紹介している、その修道会や宣教会。最終回は、福岡教区で一番歴史の長いシャルトル聖パウロ修道女会です。

シャルトル聖パウロ修道女会

記念館 (Sr. 富田撮影)



シャルトル聖パウロ修道女会は、1696年(元禄9年) フランスで設立されました。5大陸の各国で教育事業・医療及び社会福祉事業を行っています。日本では1878年(明治11年) 北海道函館に渡来した3人の修道女によって福祉・医療・教育事業が始められました。教育事業は現在全国に多くの姉妹校がありますが、福祉事業は函館と八代の2か所です。

熊本県八代市にある修道院は1900年(明治33年) 当時の八代教会主任コール神父の要請により東京から3人の修道女が派遣されました。一人は医師の資格を持つスール(フランス語で「姉妹」という意味)・ウラリ、そして他の2人は看護師の資格を持ち、着任早々孤児のお世話、診療所等の奉仕活動を始めました。現在も敷地内に現存している「記念館」(国登録有形文化財)は八代修道院の建物として建設されたものです。この時に始まった福祉事業が現在も続く児童養護施設「八代ナザレ園」のルーツです。ちなみにスール・ウラリが1920年(明治43年)に創立したのが「八代女子技芸学校」で、これが現在の「八代百合学園高等学校」のルーツです。

「聖年」の今年は「八代修道院創立125周年」を迎えます。これからも神の慈しみに依り頼みながら、時代と共に大きく変化する社会環境の中で福祉・教育事業共々、身近な社会的ニーズに応えるべく、「いと小さき人々」特に子どもたちに寄りそっていききたいと思っております。
Sr.富田 美智子

2025年3月末をもって閉園した門司聖母幼稚園は、1954年4月、門司の別院の地にカトリック門司教



旧門司聖母幼稚園園舎

2025年3月、この時の建築費のほとんどが、創設者エミール・モーゼ神父様の生まれ故郷、フランスのメネルア県ボプレシオ市の人々の善意による募金であったとお聞きしております。
2025年3月の卒園児を含め、門司聖母幼稚園から5020人の園児が巣立ち、71年の長きにわたる歴史に幕を閉じました。
「子どもは、神様からいただいた尊い宝。子どもの心に種のように蒔かれている可能

新しい道への第一歩であり、はじまり
門司聖母幼稚園 閉園

に耳を傾けた。
瀬戸神父様は、教皇ベネディクト16世が回勅「神は愛」で、愛の奉仕を行うことが宣教、典礼と並ぶ教会の三つの本質であると述べられたことを紹介。「愛のわざ(カリタス)」は「教会の心」そのものであり、私たちは困難のうちにあり、人々の叫びを聴いて、行動を起こさなければならぬ」と強調し、「人々の叫びに寄り添い、助けようとすることは主イエス・キリストの生き方そのもの。私たちはイエスと同じ道を歩まなくてはならない」と訴えた。
続けて「いつくしみと愛があればどこにでも神はそこに共にいる」と歌う典礼聖歌321番を挙げ「神様が一緒にいてくださるからこそ、私たちは支え合い、仕え合うことができる。もし私たちの力が足りなければ、神様が注いでくださる」と私たちの背中を押す言葉。
この聖歌は「分け隔てを取り除き、ねたみと争いを退け」とも歌うが、神父様は「世の中には差別があり、ねたみ

報告Ⅱ 生野秀樹

や争いもある」とも。「トランプ政権の再登場によって世界へのさまざまな援助活動が細り、各地で緊急支援を求める声が上がっている。差別やねたみは私たちの心の中にもある。弱い自分をあわれんでくださるよう祈りながら、ゆるしてくださる神に近づいていきましょう」と講話を結んだ。

☆野ゆりの賛歌

—新約聖書の女性たち—
栗栖 ひろみ (著訳者など)



社会の片隅に排除されていた女性たちが、救世主と出会った瞬間、奇跡が起こりました。これら名もなき野の花たちは、輝くばかりの栄光を浴びて変えられたのです。差別にも負けず、世の荒波の中で、主の復活の証人として生き続けました。(まえがきより)

税込価格 1540円
一粒社発行

幼稚園最後の年、閉園を見守って下さった杉原寛信神父様は仰いました。「閉園は悲しいことではありません。ン

ド・ロさま
Spaghetti
長崎スパゲッティ Since 1883
株式会社サンフリード ド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611
右記URLからご注文できます

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

福岡・大分教区合同
青年黙想会



聖歌で信仰を深めた青年たち

3月22〜23日、旧カトリック神学院で福岡と大分教区の青年黙想会がありました。18人の青年が参加、7人の司祭が共に過ごしました。
韓国では若者の聖歌を「生活聖歌」と言います。いつも「生活聖歌」と呼んでいました。その意味について考えたことがあります。今、講話を聞いて頭で理解する信仰も大事なことです。今、

私たちに本当に必要なことは、どんな乾いていく私たちの心を、温かく抱きしめてくださるイエス様を感じられることではないでしょうか。だからこそ私は、聖歌を聞き、歌い、その中で温かい何かを感じられたなら、その瞬間、信仰に対して心の扉が開くと思うのです。
この機会を通して、これから1年に1回、教区青年の黙

光丘教会 四旬節黙想会
愛のわざは「教会の心」



瀬戸高志神父

29日はカリタスジャパン事務局の横山葉子さんがカリタスの活動についてスライドを使って報告。続いてカリタスジャパン秘書の瀬戸高志神父様(レデンブートル会)の講話

想会と青年キャンプを計画する予定です。信仰の中で楽しく遊び、信仰の中で温かさを体験するための私たちの旅です。教会の未来である青年たちのために多くの祈りや応援をお願いいたします。
青年委員会 申東輝神父 (手取・帯山教会助任)
※黙想会の様子が下記QRコードからご覧になれます。



熊本諸宗教対話グループ
長延寺を訪問

「熊本諸宗教対話グループ」は、1992年に真命山諸宗教対話センターにより設立されました。活動準備のため4年間の勉強会を経て、毎年3〜4回、寺院・神社・宗教施設を訪問して対話活動を行いました。今年最初の活動は102回目になり、3月2日に熊本市の長延寺を訪問して対話活動を行いました。長延寺はまもなく創建400年を迎えます。参加者は、「熊本諸宗教対話グループ」メンバー、熊本地区小教区からの16人、カトリックではない方々、長延寺関係者10数人と多くの方でした。

対話集会は和やかな雰囲気で行われました。訪問先の長延寺は、2016年4月14日と同16日の大地震で全壊し、最近ようやく落成祝賀会を迎えようとしています。対話集会のはじめに長延寺住職原應仁上人の挨拶を頂きました。話は、この長延寺と日蓮宗の歴史を振り返りながら進められました。原住職ご自身は、諸宗教対話に光を見出していること、最後に「長延寺諸宗教対話グループをつくって真命山を訪問したい」とにこやかに話を締めくくられました。

真命山からは、Sr.マリア・デ・ジョルジが大阪の日蓮宗妙見閣寺の皆さまとの出会いなどを多くの映像を披露しながら説明しました。その後、出席者の交誼増進のために質疑応答がありました。

報告=真命山



和やかな雰囲気で行われる対話集会

年間目標

互いに支え合う
交わりの教会となる

福岡教区ハンドブック 2025 発行

ハンドブック2025は、5月中旬から下旬にかけ発送作業を行う予定です。各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

- ◆典礼暦、教区・地区の主な行事が一目で分かるカレンダー。小教区・委員会で集いや行事を計画するときに便利です。
- ◆《信徒の心得》では秘跡や教会生活の基本を知ることができます。
- ◆《祈り》《ゆるしの秘跡の受け方》《霊的読書(レクチオ・ディヴィナ)》の手引きも掲載。個人やグループでご活用ください。
- ◆掲載されているミサ時間は変更になることもあります。

※スマホやPC用にPDFによる配布も行っています。詳細は、各小教区にお知らせを配布いたしますので、ご覧の上申し付けください。

— 聖母マリアをたたえるタベ —
主催 熊本地区青年会

[日 時] 5月24日(土) 17時～
(18時からの主日のミサの前)
[場 所] カトリック手取教会聖堂
[問合せ先] ☎096・382・9413
帯山教会

※申し込み・詳細は
右記QRコードから
ご確認ください。

マリアの宣教者フランシスコ修道会
— 祈りの集い in KUMAMOTO —
希望を生きる人 HOPE

[日 時] 5月31日(土) 9時半～17時
簡素なランチ付
[場 所] マリアの宣教者フランシスコ修道会
(FMM) 熊本修道院(熊本市西区島崎 6-1-27)
[対象者] 祈りと宣教に興味がある40代までの男女
[問合せ先] Sr. 内田 inorifmm@outlook.jp
(マリアの宣教者フランシスコ修道会)
※申し込み・詳細は右記QRコードから
ご確認ください。



— 召命を共に祈る会 —

福岡地区 5月は休会します。
[問合せ先] ☎092・921・4532 山口
北九州地区 5月10日(土) 14時～小倉教会
[問合せ先] ☎0949・24・9905 藤井
熊本地区 5月15日(木) 9時30分～健軍教会
[問合せ先] ☎096・369・8896 松上

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報5月号」、または
右記QRコードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com



「一昨年、教会の隣に1年だけ住んでいました。平日は正午と18時に2回、日曜日はミサの始まる10時ごろにも鐘が鳴っていたと記憶しています。ただ、元旦と、3月31日の10時の鐘の鳴らし方がいつもと違いました。連奏というものが、鐘がハモっているように聞こえた。元旦は分かるのですが、3月31日の鐘の鳴らし方がいつもと違うのは、どんな意味があるのでしょうか？不躰な質問で申し訳ないかもしれませんが、お時間ある時に、ご返答いただけたら幸いです」

「問い合わせの教会には、大中小の三つの鐘が縦に連なる鐘楼があり、平日は小の鐘を、また日曜のミサの始まる時には、中の鐘を鳴らしていましたが、元旦(カトリックでは一神の母聖マリアの祝日)や、イースター(移動祝日)で、昨年3月31日(土)、クリスマスなどの特別な祝日には、大中小すべての鐘を鳴らしていました。3月31日の鐘の音が『連奏』『ハモって』のように聞こえたのは、そのためだったのです。回答にはこの旨に加え、「教

案内板

会合と催し

5月のこよみ

福岡教区創立 100 周年に向けて
かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027年7月16日まで

あと 26 ヶ月

スタンプノート
浄水通教会のページ

— 8つの巡礼指定教会 —
カテドラルの聖年の扉が開きました。すでに巡礼を始めた方もいるでしょう。スタンプノートも忘れずに。その2. 浄水通教会
司教館や福岡雙葉学園がすぐそばの小高い丘にあります。
聖霊に捧げられた教会です。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：希望の巡礼者
日 時：5月8日(木) 10時～15時
内 容：「希望」と愛
希望は神の愛に基づいています
次 回：6月12日(木)
内 容：「希望」と愛の業 希望は愛の業によって現れる
※2025年から、指導はチームで行われます。
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

- 美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類
毎週火曜日10時
ホームレス支援炊き出し
調理 第2・第4金曜日
夜回り 第2・第4金曜日
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時
[問合せ先] ☎092・431・6765 角田
- 1419 D・ジョンソン神父
■大濠カトリック会館・宣教養成センター
○主日の夕べのミサ
毎週日曜 18時(開館17時30分から)
○みことばのお弁当
第4木曜日10時
[問合せ先] ☎092・753・6765 大濠カトリック会館
- ミニアサロン大濠
第1・第3水曜日10時
[問合せ先] ☎092・753・6765 角田

編集後記

先日、教区WEBサイトへの問い合わせに、以下のメールが届きました。

「宣教養成委員会」「黙想と祈りの集い」テゼの歌と共にろうそくを見つめ、短い歌を繰り返して、静かに黙想する時間を過ごしませんか？
[日時] 5月22日(木) 19時30分(約1時間(場所) 大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎080・3227・8295(杣)

Faith life in India and Japan
MELISHA D SILVA メリシャ ディ シルワ (India)

I have been living in Japan for the past six years. I come from Mangalore, a city in India with a significant Catholic population, where the faith is deeply woven into the cultural and social fabric of the community. Faith was always shared openly, and the church was central to family and social life. Celebrations like Christmas, Easter, Feast of the Nativity of the Blessed Virgin Mary were joyous occasions marked by processions, hymns, and gatherings. The communal spirit of these events left a lasting impression on me.

Since moving to Japan, I've experienced a different way of living out my faith. Christianity here is practiced by a much smaller community, and faith is often more private and introspective. For example, while the Feast of the Nativity of the Blessed Virgin Mary is also observed, the celebrations are quieter compared to India. Public processions and large gatherings are rare, and the focus is more on personal reflection and prayer during church services.

Lent, too, is observed differently. In India, Lent is a season of communal activities, including the Stations of the Cross, fasting, and charity. It is a time when the entire community comes together for shared rituals and social engagements. In Japan, however, Lent is observed more individually. While church services and prayers are important, the emphasis is placed on personal reflection with fewer communal events. (...continued)

全文と
日本語訳は
右記から→
Full text
and Japanese translation
available via QR code



Celebrating the Nativity of the Blessed Virgin Mary in India: Procession, Offering Flowers, Mass, and Blessing of the New Harvest

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00



「お時間のある時に」とありましたが、やはり待つていらしたのか、それとも回答内容に思うところがあつたのでしょうか、すぐに質問者さまから再度メールが届いたので、続きは次号で！(W)